

# くらしの 情報館

ホームページアドレス  
http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/  
☎=問い合わせ先  
内=内線番号  
◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎2111/Fax272577  
◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎2111/Fax22234  
◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎462111/Fax462409  
◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎342111/Fax343584

## 募集

### 手話奉仕員養成講座 受講生

手話の基礎知識や日常会話に必要な表現方法を学ぶ講座で、手話奉仕員の活動に関心のある方を募集します。

●日時 5月11日(水)～12月14日(水)▽毎週水曜日 午後7時～9時 ▽毎月1回(土曜日) 午後1時～4時15分

●会場 りぶらん地域交流会議室(道場小路)

●受講料 無料

- 定員 20人程度
- 申込期限 4月28日(木)まで
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎社会福祉課 内2714

### パソコン教室

《昼間初級ステップアップ講座》

●日時 6月10日(金)～7月1日(金)(毎週月・水・金曜日) / 午前9時～正午

●会場 市産業プラザ人材育成センター(中田)

●受講料 1万8000円

●内容 ワード、エクセルの操作

●定員 15人 ※先着順

●申込開始 5月13日(金)から

●申込受付時間 午前9時～午後5時 ※平日のみ

●申込方法 受講料を添えて、センター窓口へ直接お申し込みください。

☎同センター ☎23512

## 案内

### 国民年金保険料

4月から平成29年3月まで

ポーツ公園 ☎23222 / 表郷総合運動公園 ☎4613 / 大信総合運動公園 ☎4622 / 84 / 東風の台運動公園 ☎3644

### マイナンバーカードの交付

現在、マイナンバーカードの交付申請を多数受け付けています。市では、準備ができた方から順次「交付通知書」を送付していますので、今しばらくお待ちください。

●本庁舎市民課 内2191

### 窓口での本人確認

個人情報保護のため、戸籍・住民異動の届け出や証明書発行の際は、本人確認が義務付けられています。手続きの

### 5月の健康相談会

成人の方を対象に「健康相談」を行っています。お気軽にご相談ください。なお、健康手帳をお持ちの方は、持参してください。

- 《白河地域》
- 日時・場所 26日(木) / 午後1時15分から / アナビススポーツプラザ
- 《表郷地域》
- 日時・場所 9日(月) / 午前9時30分から / 表郷保健センター
- 《大信地域》
- 日時・場所 11日(水) / 午前10時から / 大信保健センター
- 《東地域》
- 日時・場所 ①18日(水) / 午前9時30分から / 東保健センター ②19日(木) / 午前10時から / 蕪内公民館
- ☎健康増進課(中央保健センター) ☎272114

### 市民農園利用者

市では、市民の皆さんに野菜等の栽培や自然とのふれあいを通して、農業に対する理解を深めていただくため、関の森公園(旗宿)の市民農園を貸し出します。

- 貸出区画数 12区画(1区画約100平方メートル)
- 貸付条件 1世帯につき1区画
- 貸付期間 4月～平成29年3月(更新手続きにより継続利用可能)
- 利用料 年額6,000円
- 申込方法 本庁舎農政課にある指定の書類に記入のうえ、お申し込みください。 ※先着順
- 本庁舎農政課 内2222

### 男性不妊治療費助成事業

特定不妊治療の一環として、男性不妊と判断され治療に手術を伴う場合、その治療費の一部(1回の治療につき10万円を上限)を助成します。

●対象 次の要件をすべて満たす方 ①戸籍上の夫婦で、夫婦または一方が、本市に住民登録をしている方 ②市税の滞納がない方 ③夫婦合算の年間所得が730万円未満の方 ④県が指定した医療機関で不妊治療を受けた方

※助成の対象になる治療など、詳しくはお問い合わせください。

●本庁舎子ども支援課 内2716

### 高等学校卒業程度 認定試験合格支援

市では、ひとり親家庭の親および生徒が、より良い条件で就職または転職し、安定した生活を送っていただくため、高等学校卒業程度認定試験合格支援事業を行っています。

同試験の合格を目指す講座を受講する場合に、費用の一部を助成します。詳しくはお問い合わせください。

●本庁舎子ども育成課 内2731

### 成人式の統一開催

これまで地域ごとに開催してきた成人式を、今年度から統一して行います。

●日時 平成29年1月8日(日) / 午後1時30分から

●会場 白河文化交流館「コミネス」(会津町)

### 山火事に注意

春は、空気が乾燥し山火事が発生しやすくなります。山に入る場合は、山火事から大切な森林を守るため、火の取り扱いに十分注意してください。

●本庁舎農林整備課 内226

### 体育施設無料開放

5月5日(祝)こどもの日は、ファミリースポーツデーとして、次の体育施設が無料で利用できます。開放時間は午前9時から午後4時までです。

●無料開放施設 しらかわカナルスポーツパーク(市総合運動公園) 中央体育館・国体記念体育館・陸上競技場 / しらかわの森スポーツ公園 テニスコート / 表郷総合運動公園 表郷体育館 / 大信総合運動公園 トレーニングセンター・テニスコート / 東風の台運動公園 東体育館・テニスコート / 各市民体育館

●本庁舎スポーツ振興課 内2385 / 市総合運動公園 ☎8971 / しらかわの森

### 犬の登録と狂犬病予防集合注射

生後91日以上の子犬は、生涯1回の登録と年1回の狂犬病予防注射の接種が法律で定められています。必ず登録し、予防注射を受けてください。

登録が済んでいる飼い主の方には、事前に集合注射会場の案内と狂犬病予防注射申請書を送付します。申請書の裏面が問診票になっていますので、ご記入のうえ会場に持参してください。

- 実施日
- ▷白河地域 4月23日(土)～28日(木)
  - ▷表郷地域 5月12日(木)・13日(金)
  - ▷大信地域 5月19日(木)・20日(金)
  - ▷東地域 5月16日(月)・17日(火)
- ※会場ごとの時間などは、回覧文書または市ホームページでご確認ください。
- 費用 3,200円(注射料2,650円・注射済票550円)
- ※犬の登録を行う場合は、登録料3,000円が別途必要です。
- 本庁舎生活環境課 内2165 / 各庁舎地域振興課 表郷 ☎2112 大信 ☎462113 東 ☎342112

### 市営住宅の入居者 募集案内

市営住宅の入居者募集は、

# 案内

## 用途地域の変更等 住民説明会

良好な居住環境の維持と、健全な都市機能の集積を図るため、「用途地域の変更」と「特別用途地域の決定」について説明会を行います。

- 日時 5月12日(木)／午後6時30分から
- 会場 本庁舎5階正庁
- 本庁舎都市計画課 内2282

## 簡易水道事業と上水道事業の統合

東部、五箇、旗宿および大信の簡易水道事業と赤仁田給水施設を、上水道事業に統合しました。

これに伴う新たな口座振替

100歳  
おめでたいですね

伊藤 夕子さん(旗宿)  
大正5年3月12日生まれ



市長の手裡え帖  
白河市長  
鈴木 和夫

## 『無用の旅を楽しむ』

春がきた。桜や桃の花が咲き、野山が柔らかな若草色に染まる。暖かな風とともに旅心が出る。片雲の風に誘われて漂泊の思いやまず。土地の風情や人情を俳句に詠んだ奥の細道は優れた紀行文だ。大正から昭和に、内田百閒という人がいた。夏目漱石のサロンに連なる小説家、随筆家。特に「阿房列車」という鉄道紀行文で知られる。偏屈で頑固で皮肉屋だが、漱石のユートピアを最も引き継いでいる。

この先生、ともかく鉄道が大好き。汽車に乗ってさえいればご機嫌。旅は仕事か観光かは別として、用事があるから行くのが普通。しかし先生には目的がない。無用の用の旅。旅に出るからといって普段の生活を変えることは毛頭ない。いつも屋近くまで寝ているので列車は午後。スツッキ以外の荷物は持たない。名所には関心が無い。温泉にも入らない。ひたすら汽車に乗り、酒を飲み、車窓の景色を眺める。酔眼ながら曇りのない目で、人情や世相を独特の視点でとらえる。

先生は一人旅ができそうもない。いい連れ合いができた。国鉄職員で、鉄道雑誌の編集者。しかも先生を慕っている。本の中では、ヒマラヤ山系君と呼ばれ、全国阿房列車の旅のお供をする。彼なくしては、名紀行文は世に出なかった。ところが、「丸でどぶ鼠、朦朧とした、泥棒のような

等の手続きは必要ありません。また、送付済みの納付書も使用できます。

●水道部 ☎273222

## 退院支援ルール

病院、ケアマネジャーおよび市が連携して、要介護(要支援)高齢者の入院から自宅に戻るまでを支援する、退院支援ルールを取り決めました。入院して介護サービスが必要になった方に、今後自宅でのようなサービスが受けられるかなどを案内します。詳しくはお問い合わせください。

- 本庁舎高齢福祉課 内2738

## 稲作農家の皆さまへ

市では、安全なお米を生産できるように、放射性物質の吸収抑制に効果がある塩化カリ肥料をお配りします。

この肥料の使用にあたっては、通常の基肥施肥とは別に、10アル当たり10kgを散布してください。

- 本庁舎農政課 内2224

## まちかど伝言板

### 手作り甲胃教室

白河歴史文化協会では、市の歴史的資産を掘り起こし、まちづくりの教室を開催します。

- 日時 4月、11月(隔週の土曜日)／午前9時～午後4時 ※開講式は4月23日(土)の午前10時から正午まで
- 会場 緑川産業2階(明戸)
- コース 標準・中級・本格
- ミニ甲胃コースから選択
- 受講料 1万円(材料費別途、1万5千円から)
- 定員 30人 ※先着順
- 申込期限 4月17日(日)まで
- 申し込み・問い合わせ先 同協会事務局 渡邊 ☎271060 / Eメール f.w.k.x214@ybb.ne.jp

### 市民天体観望会

- 望遠鏡を使って、月や木星、星雲や星団を観察します。
- 日時 4月17日(日)、5月14日(土)／午後7時～8時30分

●会場 JR白河駅前イベント広場駐車場(駅交番西側) ※曇りや雨の場合は中止します。天気がはっきりしない場合は、電話でご確認ください。

●参加料 無料

●白河天文同好会 小椋 ☎901678512503

## 立教志塾講演会

- 日時 4月22日(金)／午後6時30分から
- 会場 りぶらん地域交流会 議室(道場小路)
- 内容 ▼講演 「キッズカレッジの目指すひとづくり」
- ▼講師 郡山キッズカレッジ代表 渡部幸子氏
- 入場料 500円(塾生無料)
- (公財)立教志塾 ☎21427

## 第3回天狗の花まつり

- 東北有数の規模で群生するカタクリの花(100万株)などが咲き誇ります。
- 期間 4月9日(土)～17日(日)
- 会場 天狗山「天狗の森」(表郷番沢)

## ギャラリートーク

写真展「奪われた野にも春はくるか」の開催に伴い、写真家鄭周河氏、東京経済大学教授徐京植氏、東京大学大学院教授高橋哲哉氏によるギャラリートークを行います。

- 日時 4月24日(日)／午後1時30分から
- 会場 原発災害情報センター(白坂)
- 入場料 無料 ※写真展は一部有料
- 申込期限 4月17日(日)まで
- 申し込み・問い合わせ先 アウシユヴィッツ平和博物館 ☎22108

## 春の全国交通安全運動

4月6日(水)～15日(金)  
《運動のスローガン》  
しんごうが あおでもよくみる みぎひだり  
《運動の基本》  
子どもと高齢者の交通事故防止  
《運動の重点》  
①自転車の安全利用の推進  
②すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底  
③飲酒運転の根絶  
●本庁舎生活環境課 内2169

顔」とさんざんだ。でも山系君は余計なことを言わない。主人の攻撃にまともに反応しない。微妙にずれる会話と、ちぐはぐな間合いを先生は気にしていない。

何の目的もなく汽車に乗ることを、おかしげに阿房列車と称しているが、本人はそう思っていない。「用事がなければどこへも行ってはいけないというわけではない。なんにも用事がないけれど、汽車に乗って大阪へ行つて来ようと思う」。なんと面白い書き出し。昭和25年某月某日東京発12時半、特別急行列車はと号は、先生のお気に入りの用件でこうまで混雑するのか解らないが、どうせ用事なんかないにきまっていると、にがにがしく思った。なんのことはない、用がないのは当の本人だ。

発車に近いのに切符は持っていない。未来を拘束されるから、前もって買わないのが流儀。といっても気になる。「売り切れでも、乗っている人を降ろしても構わないから、是非今日、そう思った時間にたいたい」。無理なことをいうが、そのわがままに笑いが出る。駅員とかけあい、切符を入手する山系君の苦労がしのばれる。

先生は一等車がとれたとご満悦。出発まで時間があるから精養軒で飲もう。近くでビールを飲んで3人を、昼日中から猿のような顔をして、行儀が悪いという自分のことは棚にあげている。

2人とも酒が好き。そこは実に相性がいい。酒がされたのか、名古屋の手前で食堂車へ移る。曖昧な頭で、曖昧な話をして、宿で早くに休むの

かと思いきや、かなりの鈍子を空け、怪気炎をあげる。日が高くなって起き出す。昨日と同じ汽車で、同じ時刻に大阪を発車した。同じ乗務員にもうお帰りですか、お忙しいご旅行でと声をかけられた。

上野発12時50分の準急で仙台へ。夕暮れ前福島に着き、駅前の辰巳屋に宿をとる。さて楽しみ夕食。女中が酌をする。「会津の一番いいお酒で」成る程、何というお酒だい。女中「いいところ」稲の心で、稲心か。女中「違いますよ よね心です」ははあ、よね心 つまり、よねはお米だね。女中「違います よめごころ」「そうか、嫁心か」。女中「いいえ、いめごころ」はてな。山系君が「ゆめ心なんでしよう」と収める。福島訛りの女中に閉口する先生との、とんちんかんやりとりで吹き出してしまふ。

人は単調な暮らし、片のつかない仕事、うまくいかない人間関係の中で日々を過ごす。行方定めぬ草枕、ひと時の出家か遁世を夢見て旅に出る。現実、切符・日程・宿探し、お土産やらで気が重い。せつかくだからあれも見たい、これも見てこよう。結局、気ぜわしく動き回り、いつもの有用の旅になる。ああくたびれた、やはり家がいい。概ね俗人はこうだ。

先生は常識にとらわれない。世間から見たら変人。だからこそ、本物の旅の自由と純粹さを味わえる。旅の真の楽しみは、無用の用にあるのかもしれない。寝つかれない夜、枕もとの「阿房列車」をめぐる。そのうち、線路の継ぎ目を刻むリズムミカルな音に誘われるように眠りにつく。